

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	備前斎場維持管理事業		コード	01-01-16-01	担当課	環境課 衛生係
事業実施期間	昭和46年度～		担当者	馬場 敬士		
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり				
	中項目	生活しやすいまちづくり				
	小項目	火葬場・墓地				
	施策	火葬場の適正な管理運営				

事業について	
目的	葬儀を執行するにあたり、火葬炉施設の故障や職員の対応等により、利用者に不快感を与えない。
対象 (誰のために)	祭壇・霊柩車・斎場を利用するすべての市民 斎場を利用する市外の利用者
内容	適正に火葬を執行するために斎場・霊柩車等の維持管理を行う。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
火葬執行数	345 件		
祭壇業務数	51 件		
霊柩車運行数	11 件		
火葬執行日数	215 日		
改修工事費	16,989 千円		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	32,794	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
	人件費	15,263	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	48,057	市債	48,057	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	2.65	人		人
結果指標①	火葬執行数			
結果指標量	345	件		
対前年比	0.00%			
事業費	45,622,000	円		円
単位当たりコスト①	132,238	円		円
結果指標②	祭壇業務数			
結果指標量	51	件		
対前年比	0.00%			
事業費	2,435,000	円		円
単位当たりコスト②	47,745	円		円

事業の成果	備前斎場稼働率		
成果指標名	式又は説明	火葬執行日数/開館日数 (休館日: 友引、12/31~1/3)	
成果指標量	17年度	0.71	
対前年比	0.00%		
到達目標値	到達目標年度		

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	火葬執行については、関係法令等に基づき適正で効率的に処理している。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	備前斎場は、稼働から18年を経過し、修繕工事に係る費用が年々増大している。また、祭壇業務については塵芥収集の職員で対応しているため祭壇業務当日の人員配置が難しい。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	火葬執行については、死亡者の数により増減するため件数だけで判断するのは難しいが、施設利用者がいる限り継続していく必要がある。祭壇業務については民間に同一のサービスがあるため徐々に業務の縮小が必要である。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	施設の老朽化等により、施設の維持費は年々増加していくと思われる。現状では、コストの削減は難しい。祭壇業務については民間に同一のサービスがあるため徐々に業務を縮小して行く必要がある。また、合併による地域間(備前・日生・吉永)のサービスの誤差をなくす必要がある。	評価区分 <A~E> C
------	---	------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度 結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性				
効率性		祭壇業務の見直しについての検討	H18~	人員配置の改善
有効性				

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。